



キッチンセット 取付・設置説明書



●この説明書は、商品を正しく取付・設置していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。内容を確認しながら、確実に安全な取付・設置をお願いします。

■安全上のご注意（必ずお守りください）

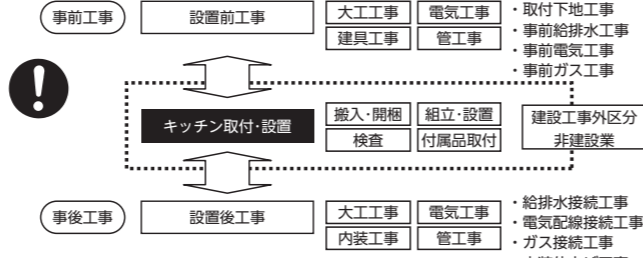
- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。
- お守りいただく内容の種類を、下の図記号で区分し、説明しています。

	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

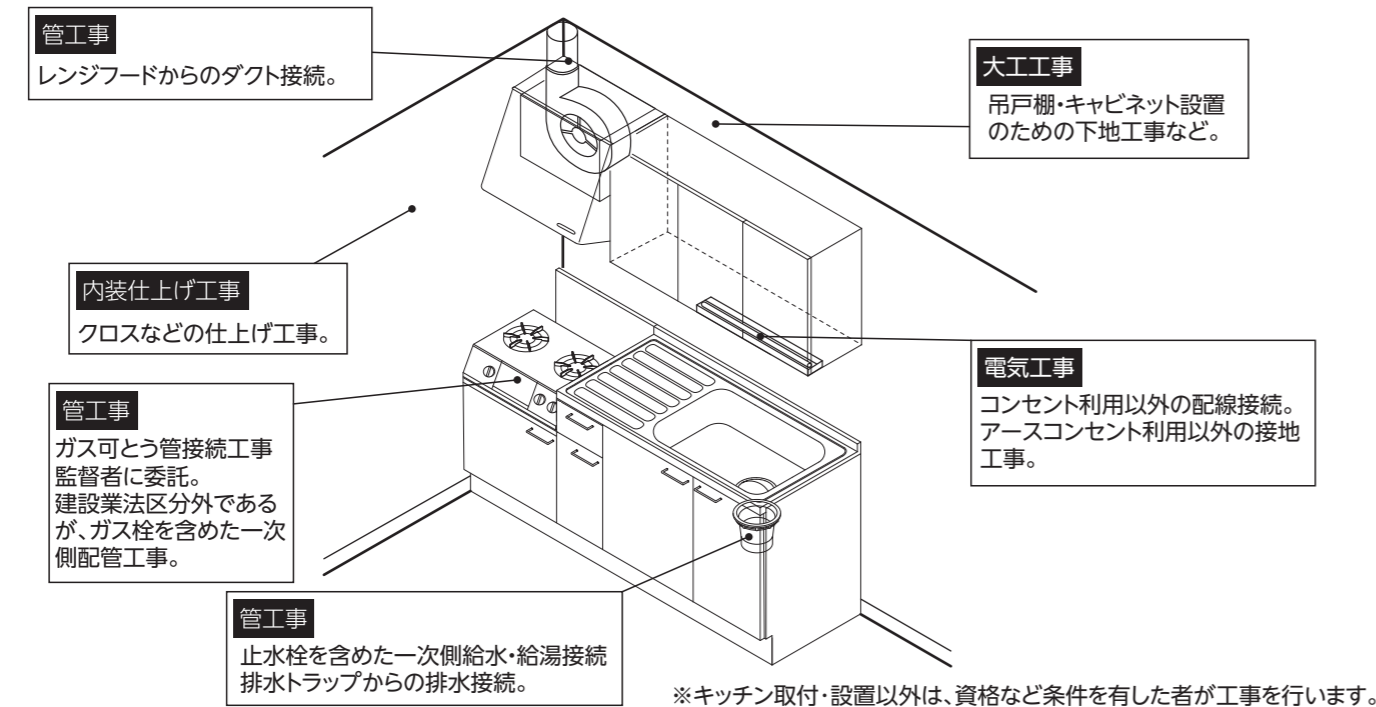
●取付・設置完了後は、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

	警告 この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
	注意 この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

◎本説明書は、本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。建設工事は関連する法令・規定に従って、「法的有資格者」による工事が必要になります。流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「キッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



※本説明書では、上記した工事に関する説明部分に **大工事** などの工事区分を表記しています。

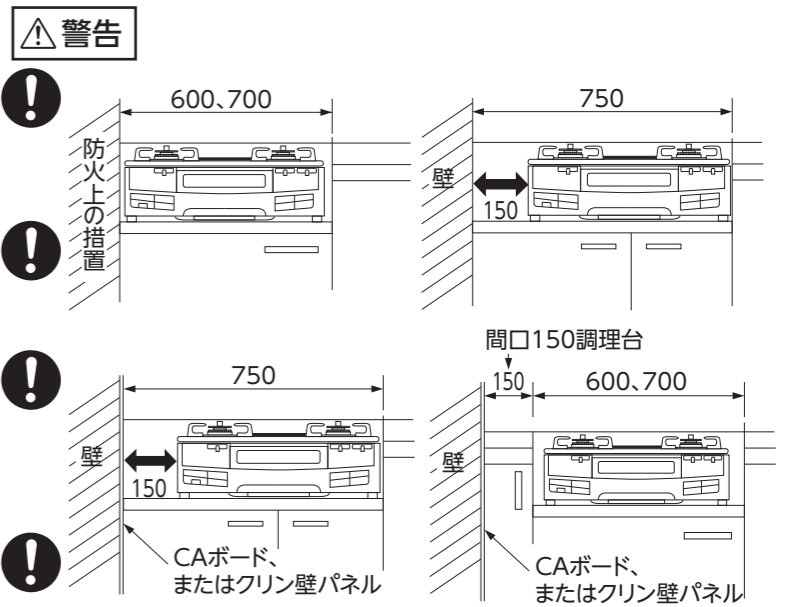


※キッチン取付・設置以外は、資格など条件を有した者が工事を行います。

建設工事区分	資格など、条件
電気工事	第1、2種電気工事士、電気主任技術者、建築設備士
大工事	1級、2級建築士、建築大工「技能検定」合格者
管工事	1級、2級管工事施工管理技士、建築設備士、給水装置工事主任技術者
内装仕上げ工事	1級、2級建築施工管理技士、1級、2級建築士、技能検定合格者

■安全上のご注意（必ずお守りください）

- ◎間口 600 mm、700 mm のコンロ台を設置する場合は、事前準備として、コンロ台横の壁面を、各地域の火災予防条例に従って、防火上の措置をしてください。防火上の措置を施していない場合は、火災の原因になります。 **大工事** **内装仕上げ工事**
- ◎間口 750 mm のコンロ台を設置する場合、横壁面に防火上の措置が施されていないときは、調理機器を壁から 150 mm 離して設置してください。離していない場合は、火災の原因になります。
- ◎コンロ台の横壁面が、CA ボードまたはクリン壁パネルで仕上げられているときは、必ずコンロ台間口が 750 mm であることを確認してください。また、調理機器は CA ボード、またはクリン壁パネルから 150 mm 離して設置してください。熱で表面に変色やふくれが生じる恐れがあります。
- ◎間口 600、700 mm のコンロ台の横壁面に CA ボードを取り付けると、熱で表面に変色やふくれが生じます。必ず調理台を取り付けてください。
- ◎配線・配管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「法的有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になります。 **管工事** **電気工事**
- ◎ステンレス製ワークトップを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。
- ◎コンセントは絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。



- ◎当社商品に使用する材料や接着剤などは、JIS、JAS または国土交通大臣の認定を受けた F☆☆☆☆ の材料を使用しています。下地材、接着剤、塗料などについても、F☆☆☆☆ レベルのものをお選びください。ホルムアルデヒド発散量の多い下地材、接着剤、塗料などを使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることとなります。 **大工事** **内装仕上げ工事**
- ◎取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。
- ◎部品を取り付けるときは、ねじのゆるみや、浮きのないように、正しく取り付けてください。取り付け方を誤ると、使用中に落下して、ケガをする恐れがあります。
- ◎調理機器を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準・火災予防条例に定める防火処理を施す必要があります。 **大工事** **電気工事** **内装仕上げ工事**
- ◎排水ホースは U 字型に曲げたり、折り曲げたり、たるませたりして取り付けないでください。排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。 **管工事**
- ◎排水器具・排水ホースの取り付けおよび排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。水が漏れたり、湿気が上がり、床などが腐る恐れがあります。 **管工事**

組込機器類

- ◎キッチンに取付・設置する電気製品・調理機器・レンジフード・その他の機器については、それぞれの商品の説明書や商品本体の注意表示を確認して工事を行ってください。工事を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。 **電気工事** **管工事**
- ◎アース接続の必要な機器が取付・設置される位置にアース端子が設置されているか、アース線が出ていることを確認してください。もし、アース線が出ていない場合は、再工事を行ってください。 **電気工事**

洗剤類

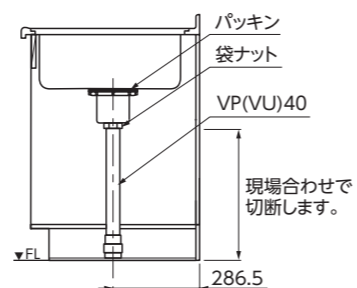
- ◎取付・設置や工事に使われる溶剤・接着剤・その他の薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、商品の損傷や劣化の原因になります。 **内装仕上げ工事**

■傷防止のお願い

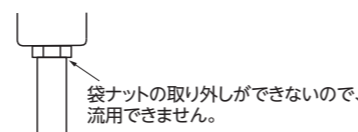
- ダンボールや厚手の毛布で、流し台やワークトップの上を十分に保護してから作業を開始してください。
- ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品に傷をつけないように養生してください。
- 給水・給湯・排水・ガスなどの配管工事を行う際は、底板上に傷、へこみをつけないよう養生してください。 **管工事**
- 商品を動かす場合は、かつぐなど幕板に無理な力がかからないようにしてください。商品が変形する原因になります。
- 幕板を取り外したときは、床や商品に傷をつけないよう養生してください。
- キャビネットを移動するときは、ワークトップ部ではなく、必ずキャビネットごとをもって移動してください。ワークトップが変形します。

■排水トラップと排水管との接続：直管配管の場合

- ◎直管配管とトラップとの接続は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。 **管工事**
- ◎右図は直管配管の場合の例です。
集合住宅などで集中の排水管洗浄（高圧洗浄）を行う場合は、右図のようにVP（VU）40管を使用し、トラップ本体と排水管を接続してください。 **管工事**
また、都道府県や市町村の条例などにより、直管配管が義務づけられている場合がありますので、確認のうえ、その指示に従ってください。
- 排水トラップについているパッキンと袋ナットは、VP（VU）40管に右図のように取り付けてください。 **管工事**
- VP（VU）40管はトラップ本体に合わせて奥まで差し込めるように長さを調節し、切断してください。 **管工事**
- 排水トラップにVP（VU）40管を接続して横引きする場合は、排水管が抜け落ちないように、壁などに必ず固定してください。 **管工事**
- ※VP（VU）40管（直管）、45度エルボ、90度エルボ、袋ナットなどは現地調達になります。同梱されている袋ナットの流用はできません。
- 最後にもう一度、各接続部のナット類を手でしっかりと締め込んでください。水漏れがないか、必ず点検をしてください。 **管工事**

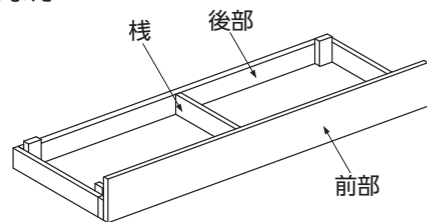


※直管用エルボは、現場に合わせて切断が必要です。VP（VU）40、袋ナット等は現地調達になります。



■高さ調整台輪の取り付け（オプション）

●各部のなまえ



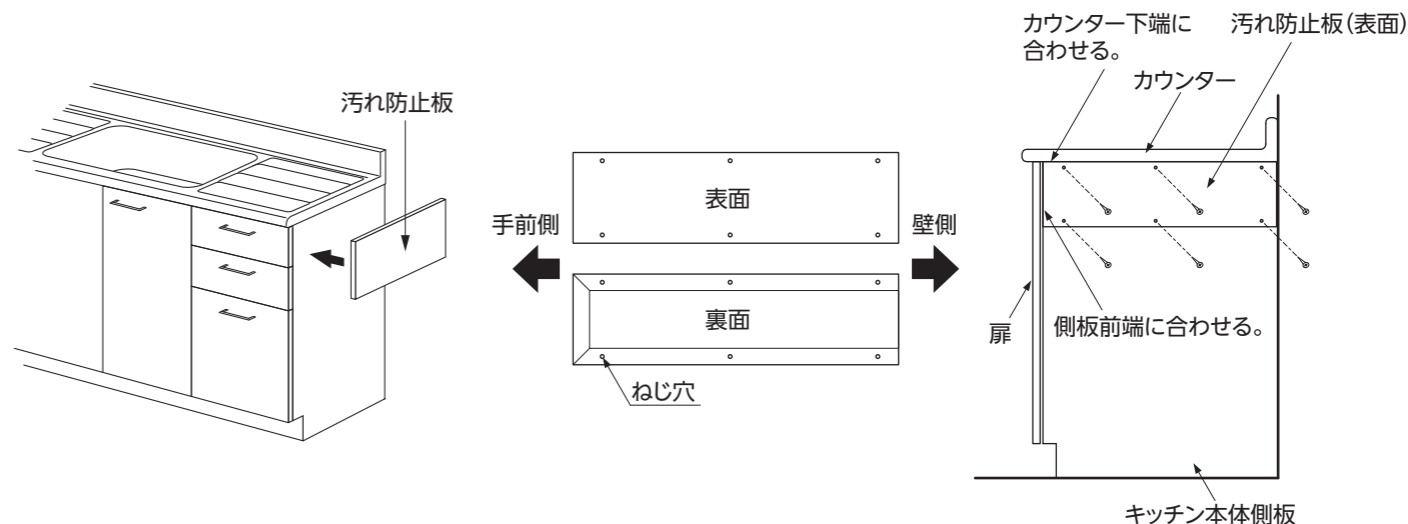
●付属部品表

間口	部品	木工用接着剤	皿木ねじ (3.1×32)	丸木ねじ (3.1×15)
300~1050		1本	—	—
1200~1800		1本	2本	2本
隅調理台用750		1本	—	6本

間口	組み立て方	取り付け方
300~1800	<p>(1)図のように、ダボ穴に接着剤をつけ、ダボをたたき込んでください。 <W1200~1800の場合> 組み立てた高さ調整台輪の中央部を開いて棧を入れ込みます。前部をアングル樹脂部品を用いて丸木ねじで固定し、後部を皿木ねじで固定してください。</p>	<p>(2)組み立てた高さ調整台輪をキャビネットを設置する位置に正確に並べてください。次に、キャビネット本体を高さ調整台輪の上へはめ込んでください。</p>
隅調理台用 750	<p>(1)図のように、ダボ穴に接着剤をつけ、ダボをたたき込んでください。次に、金属製アングル（2カ所）、アングル樹脂部品（1カ所）を丸木ねじで固定してください。</p>	<p>(2)組み立てた高さ調整台輪をキャビネットを設置する位置に正確に並べてください。次に、隅調理台を高さ調整台輪の上へはめ込んでください。</p>

■汚れ防止板の取り付け（オプション）

- 付属部品表
皿木ねじ（2.9×13）6本
- 取付・設置方法
汚れ防止板を表面がコンロ台側になるようにし、流し台や調理台のコンロ台に接する側板に取り付けます。
カウンターの下端と側板の前端に位置を合わせ、汚れ防止板の下穴から、付属のねじ（2.9×13）で取り付けてください。



■取付・設置後の確認

- 次の事項を確認してください。なお、大工工事、電気工事、ガス工事、ガス配管工事、給排水管工事、ダクト管工事、建具工事にかかわる確認は、「法的有資格者」に依頼してください。 **大工工事** **電気工事** **管工事** **建具工事**
繰り返し扉を開閉し、確実に^{ちょうばん}固定されているか、確認してください。
- 丁番で扉の段違いを調整してください。また、扉面がキャビネットと平行になるように調整してください。
- 引出しを開閉し、ガタつきがないか、確認してください。
- 取っ手、丁番などのねじにゆるみがないか、確認してください。
ねじにゆるみがある場合は、⊕ドライバーで締め付けてください。電気ドライバーは、使用しないでください。
- 棚板がしっかり載っているか、確認してください。
- 排水トラップ、排水ホース、防臭キャップなどがしっかり取り付けられているか、確認してください。 **管工事**
- 水を流し、排水トラップ、排水ホース、防臭キャップなどから水漏れがないか、確認してください。 **管工事**
- 水を流すことで排水トラップに封水ができ、排水管からの悪臭、有毒ガスの流入を防止できます。 **管工事**
- ぬれたシンク内の水滴は、きれいに乾拭きしてください。
- 扉や引出しにガタつきや、キャビネット間・部材間にガタつき、すき間がないか確認してください。
- キャビネットの清掃を行ってください。
- ステンレスワークトップが汚れている場合は、水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れ、またその周囲を全体的に拭き取ってください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きしてください。

■取付・設置後の整理など

- 取付・設置終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。
- 不要なダンボールや廃材は、排出事業主（元請け）の指示に従い適切に処理願います。
- 火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。
- 水栓が閉まっていることを確認してください。

■廃棄処分について

- 不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

※以上のことを確実に行ってください。